

の南九州

第 13 号
平成23年2月4日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



餅つきを楽しむ子ども（川辺やすらぎの郷の新春感謝祭）

公共施設等整備基金への積立など5億4300万円補正	 2
次の選挙から議員定数22人	 5
指定管理者が決定	 6
いっぱん質問・10人登壇	 8
活かせ提言－閉会中の所管事務調査－	 14
市民の声	 16

など補正

12月定例会

一般会計

補正額

5億4,376万1千円

予算総額

214億6,268万7千円

補正予算の主なもの

12月定例会は、11月30日から12月10日までの11日間の会期で開催されました。補正予算や条例改正など議案21件、同意4件など慎重審議の結果、可決・同意され、陳情については2件を継続審査、1件を不採択としました。また、意見書1件を採択し、関係大臣に提出しました。

総務費

○公共施設等整備基金費

2億8540万円

今後の公共施設等整備に要する財源確保のため基金へ積立を行うものである。

○移住定住促進対策事業費

990万円

今後の執行が見込まれる住宅取得13件、リフォーム1件など増額するものである。

審査の中で

問 現時点での地域ごとの申請件数は。

答 額妊地域20件、知覧地域17件、川辺地域25件の計62件である。

○秘書人事関係費

326万5千円

臨時職員の社会保険料率の改正及び雇用保険制度の改正などに伴う臨時職員共済費などを増額するものである。

○戸籍住民基本台帳費
(一般経費)

738万円

パスポート発行事務に伴い端末機器などを購入するための経費や住基法改正に伴うシステム改修経費などである。

審査の中で

問 パスポート発行手続きは各支所で可能となるのか。

答 市民の利便性を考慮し、可能となるよう検討中である。

過疎地域自立促進特別措置法の改正により過疎対策事業債へ変更などが9億4,580万円

(過疎対策事業債については後年度にわたり、国から交付税による財源措置があります。)

変	林業債	20万円
更	小学校債	9,050万円
	学校給食債	4億2,180万円
新規	一般財源	4億3,330万円

市債が4億3,330万円増え
総額28億791万8千円に

公共施設等整備基金費

民生費

○障害者自立支援給付事業費

9463万6千円

平成22年4月より非課税者の自己負担金（原則1割）が無料となったことから給付予定額を増額するものである。

○かつめ保育所費

348万6千円

入所児童増に伴い職員定数増となり賃金などを



知覧温泉センター

○温泉センター管理費

150万円

落雷や突発的な修繕に対応するため増額するものである。

○施設整備等補助事業費

3650万3千円

平成22年3月の北海道グループホーム火災を受け、国の緊急対策に基づくスプリンクラーなどの整備に対する補助である。

商工費

○平和コンサート開催事業費

▲306万円

口蹄疫感染防止に伴いコンサートを中止したため、委託料などの経費を減額するものである。

教育費

○安全・安心な学校づくり交付金事業費

▲271万2千円

田代小学校の屋内運動場の耐震補強及び大規模改造工事に係る設計費入札執行に伴う不用額を減額するものである。

＜審査の中で＞

問 多額の入札執行残になつてゐるが、その理由は。

答 新しい委託業務報酬基準により積算を増額し予算措置したためである。



ミュージアム知覧で学習する小学生

○小学校教育振興事業費

1727万5千円

平成23～26年度に使用する教師用教科書・指導書を購入するものである。

○ミュージアム知覧管理費

59万1千円

音響機器の修繕などのため増額するものである。

○川辺文化会館管理費

688万3千円

非常用電源装置及びホール避難誘導灯の故障による取替費用である。

＜審査の中で＞

問 当初予算ではなく、今回の補正計上となつた理由は。

答 平成21年1月の消防設備点検時に指摘を受け、修繕での対応を検討したが、部品がなく取替えるものである。



イノシシ被害にあったイモ畑

農林水産業費

○鳥獣被害防止総合対策
交付金事業費

160万7千円

有害鳥獣捕獲対策協議
会への県補助金である。

イノシシ箱罠 20基

タヌキ箱罠 10基

カラス罠 1基

○やすらぎの郷管理運営
費

48万9千円

(社)九州建設弘済会から
道の駅川辺やすらぎの郷
の機能向上を目的に寄附
があり、障害者用駐車場
などを整備するものであ
る。

○茶園新・改植事業費

202万4千円

受益面積が11・423
ヘクタール増加したため
10アール当たり1万8千
円以内で補助するもので
ある。

○県単独茶園改植事業費

103万9千500円

受益戸数77戸、受益面
積20・801ヘクタール
に対し、10アール当たり
5万円以内で補助するも
のである。

審査の中で

問 お茶の改植状況はど
うのようになっているの
か。

答 茶の品種により大き
な価格差があり、高く買
い取られる品種（サエミ
ドリ）への改植が増えて
いる。

土木費

○市道補助整備事業費

1億5000万円

国の追加事業により、
市道の測別府折尾線、塩

屋駒ヶ水線、樋与上線、
永田本別府線、平山松崎
線、清水小学校前線の6
路線を整備するものであ
る。

審査の中で

問 6路線の中には排水
施設が整備されていない
箇所が見られたが、どう
対処するのか。

答 今後、更に調査し、
必要箇所については整備
していきたい。

○普通公園施設整備事業
費

120万円

番所公園駐車場61台分
の区画線と案内看板2基
を整備するものである。

○公共下水道事業特別会
計繰出金

▲914万2千円

前年度繰越金が確定し
たため、減額するもので
ある。



ひび割れが目立つ市道平山松崎線

特別会計

介護保険事業

○居宅介護サービス給付
費

3500万円

居宅介護サービス利用
が増加しており、予算に
不足を生じるため増額す
るものである。

○介護予防住宅改修費

220万円

介護予防住宅改修申請
が増加しており、予算に
不足を生じるため増額す
るものである。

企業会計

水道事業

○拡張費

253万7千円

知覧地域の共親地区に
おける水源開発の施設改
良に伴う用地補償費を増
額するものである。

期末手当など引き下げ

給与改定

市長などの特別職及び議会議員の12月の期末手当を0.15月分引き下げ、年間の支給率を2.95月分にしました。

また、一般職は、12月の期末・勤勉手当を合計で0.2月分引き下げ、年間の支給率を3.95月分にするとともに、中高年齢の給料月額を平均0.1%引き下げ、さらに、当分の間、55歳を超える特定職員の給料月額などを1.5%減ずる措置などを行ないました。

次の一般選挙から 議員定数22人

9月定例会において、「南九州市議会議員定数等調査特別委員会」を設置し、県内の各市の議員定数、報酬の状況など参考に慎重審議いたしました。

●20人とすべき意見
財政状況の厳しい中、人口も減少していることから20人が妥当など。

●22人とすべき意見
県内類似市の人口や面積を比較すると22人が妥当など。

●24人とすべき意見
合併前の44人から、新市になって24人に減少している。地域も広くなつたことから、現状のままよいなど。

意見の多かった20人とするか22人とするか採決した結果、22人と決定した。

また、議員報酬の額についても協議したが、市長が特別職報酬等審議会

の意見を聞き、条例を議会に提出し決定することになっていたので結論は出さなかった。

学校給食センター 新築工事請負契約 の締結

工事請負者

堀之内・田川 特定建

設工事共同企業体

代表者

南九州市知覧町 郡

5414番地

株式会社 堀之内建設

工期
平成22年11月30日（
平成23年7月28日
請負金額
4億4940万円

意見書の提出

提出者…南九州市議会
○T P Pへの対応に関する意見書

広範な分野を対象とした包括協定であり、また全品目について関税撤廃が原則であるT P Pについては、国会において十分審議し、国民合意が取れるまで時間をかけて検討し、拙速に参加しないことなどを、衆参両議院議長ほか関係機関に提出しました。

柚木茂樹議員

辞職

12月10日をもっての議員辞職願が提出され、議会において許可されました。

陳情

不採択

◎「鹿児島交通(株)運行の鏡石湯～枕崎高校前線」通学バスの運行の締結を求める陳情書

提出者：南九州市川辺町下山田2276番地2
日本共産党南九州市委員会
代表 大倉野 由美子

不採択の理由

- ①本市の高校生の中には、保護者が負担しマイクロバスなどを借り上げ通学している者もあり、それらに対する通学支援補助はなく、枕崎高校への通学者にのみ補助することは公平性に欠ける。
- ②高校再編が進められる中、市内の高校が定員割れの状態であり、市外に通学する高校生の通学バスの補助を継続することは市民の理解が得られない。
- ③合併後の方針としては、20年度に入学する高校生が卒業する22年度まで運行する計画となっていた。

継続審査

◎T P Pの参加に反対する陳情

提出者：南九州市知覧町瀬世4934番地1
南さつま農民組合知覧支部
代表者 内園 知恵子

◎「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に反対する意見書提出を求める陳情書

提出者：南九州市知覧町東別府20782番地2
知覧町保育連合会会長
明光保育園園長 日谷 法泉

人事案件

◆教育委員会委員◆



● 福留 直人氏
任期 23年1月8日から
27年1月7日まで
知覧町 御領

◆固定資産評価審査委員会委員◆



● 西牟田 隼人氏
任期 23年1月8日から
26年1月7日まで
知覧町 御領



● 射手園 郁男氏
任期 23年1月8日から
26年1月7日まで
知覧町 郡



● 土喰 行夫氏
任期 23年1月8日から
26年1月7日まで
知覧町 中山田

指定管理者決まる

「指定管理者制度」とは、公の施設の管理運営を営利企業、市民グループなど法人その他の団体に代行させることができる制度であり、この制度によって、利便性の向上、施設を所有する地方公共団体の負担軽減などの効果があります。

平成23年3月末で期間満了となる9施設の指定管理者を決定しました。

新たな指定期間は、いずれも平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となります。

●施設名 市営駐車場（8カ所）
知覧観光案内所
団体名 知覧町観光協会

●施設名 ふれあいセンター
わくわく川辺
団体名 (株)セイカスポーツセンター

●施設名 知覧温泉センター
団体名 (株)セイカスポーツセンター

●施設名 知覧テニスの森公園
団体名 グリーンテニス

●施設名 知覧老人福祉センター
団体名 社会福祉法人 市社会福祉協議会

●施設名 森林馬事公苑
団体名 特定非営利活動法人
エコ・リンク・アソシエーション

●施設名 ふれあい保全活動促進施設
（ふれあい交流館）
団体名 知覧水車からくり保存会



◆人権擁護委員◆



● 菊永 忠行氏
知覧町 塩屋
※同委員は、市町村が議会の意見を求め、法務大臣に推薦するものです。
任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間で

●施設名 林業総合センター
団体名 下郡南自治公民館

●施設名 岩屋公園
オートキャンプ森のかわなべ
団体名 (株)かごしまツーリズム





質 問

菊永 忠行 議員
平成20年3月議会

防災行政無線の改善策は

地域で受信状態が悪いところがあるが、早急に改善する考えはないか。

市 長

南九州市の自治会放送施設整備事業補助金交付要綱により申請があれば早急に対応する。

中継装置など補助対象経費の50%以内補助。
知覧地区の浮辺地域、新町地域、下郡北地域などは市の補助を受け改善された。

質 問

今吉 賢二 議員
平成21年9月議会

マリンゾーンの振興策は

鰺ヶ崎地域の番所公園など風光明媚な景観を活かした観光地として公園整備する考えはないか。

市 長

総合計画が本年度からスタートしており、今後関係者と協議しながら整備を進める考えである。

県が実施する魅力ある観光地づくり事業(番所公園にぎわい回廊整備事業)の整備にあわせて、本市は駐車場の区画線整備と案内板を設置する。



市政に問う!

10人が
登壇

いっぱん質問



東 兼喜 議員

和田橋

市長／橋前後の道路改良で
検討する

早期改修を図れ

東 本市の幅員狭小や老朽化橋梁の優先順位などを含め、今後の整備方針を示せ。

市長 市が管理する橋梁は310橋ある。橋梁の計画的かつ経済的な管理を実施するための長寿命

菊永 総合計画において平成29年度の目標人口を4万人と設定し、各種施策を展開しているが、合併時の人口42,093人が少子高齢化の進行により、平成22年10月末現在で40,212人となっている。若者が定住し安心して暮らせる住み



菊永 忠行 議員

やすいまちづくりが重要と考えるが、目標達成に向けた今後の取り組みを問う。

市長 移住定住促進対策として

①雇用の創造として、後継者新規就農対策。

②快適な住環境の提供として、住宅取得補助制度の充実。

③子育て支援体制の強化として、保育サービスの充実、乳幼児医療助成事業など。

④教育環境の充実として、郷土教育の充実、学

移住定住

市長／促進対策を基本に
取り組む

今後の取り組みは



住宅取得補助を受け建築する住宅

校施設の耐震化など。

⑤地域自治会の活性化として、コミュニティ活動の活動奨励金の交付など。

⑥保健・福祉対策の充実として、交通弱者の生活をサポートするコミュニティバスの運行など。

6つの分野にわたり各種施策を展開している。

今後この対策を基本とし、具体的なビジョンを設定し取り組みたい。

市民の声を

市民音頭

制定する考えはないか

市長／早急にできるように努力する



深町 幸子 議員

深町 22年第2回市議会定例会で市長は、平成21年度に市民歌制定委員会を設置し、23年2月にお披露目できると答弁している。

資料によると、今後CD製作委託など417万円程度かかる見込みである。

22年の南九州市民体育

大会は、雨や雷のため中止となったが、次の大会には老若男女、3町の皆さんが一緒になって音頭の輪が繰り広げられることを願っている。

本市には30名の体育指導員の方がいる。ぜひ音頭を作っていたら、振り付けについては、私たちに任せて下さいと言われた。早急に市民音頭を制定する考えはないか。



市民の融和が期待される踊りの輪



改良が待たれる和田橋

化修繕計画の策定を23年度中に終え、整備については財政状況を踏まえながら計画に基づき進める考えである。

東 中福良校区自治会長ほか4自治会長から提出された和田橋の陳情に対する対応を問う。

市長 早急な架け替えは財政的にも困難なことから、橋前後の道路線形の見直しによる局部改良ができないか検討したい。

東 今後の関係自治会への対応をどのように考えているか。

市長 事業推進を含め、地元自治会が納得する形で対応をしたい。

その他の質問

・九州新幹線全線開業に向けた取り組み状況
・民間企業によるホテル進出の現況

河川 魚道整備を

市長／県に要請したい



今吉 賢二 議員

管理や環境保全の上で必要と認められれば魚道を整備することもできるが、魚族が遡上できない原因が用水用井堰によるものであれば管理者である水利組合で行うようお願いしているとのことである。水利組合の同意と地域住民の理解が得られれば県に要請したい。

登記前払いの対応は

市長／経緯を説明し理解を求める

今吉 登記前払いで購入した土地で、相続人の所有権が侵害されている案件がみられるが、今後の対応を問う。

市長 所有権が侵害されている方がいれば大変遺憾なことであり申し訳なく思っている。未承諾の相続人に対しては、これまでの経緯を説明し理解を求めるがら未登記の早期解消に努めたい。

今吉 用水用井堰により、魚族が遡上できない河川が見られるが、魚道を整備する考えはないか。また、颯娃地域の二級河川集川下流域で鮎の生息が確認されたが、魚族繁殖のため各井堰に魚道を整備するよう県に要請する考えはないか。

市長 二級河川の管理については、県が主体で行っている。魚道整備について、県としては河川



鮎の生息が確認された集川

口蹄疫

畜産農家への支援は

市長／関係機関と連携し指導強化を図る



大園 秀己 議員

時報の復活は

市長／地域ごとには可能である

大園 防災行政無線によりさまざまな地域情報が提供されているが、各部署で統一されていないことや内容がわかりづらいという声がある。また、多くの市民から要望のあ

大園 本市の農業生産額の半分以上は畜産部門と聞く。宮崎で発生した口蹄疫や景気低迷により、肉牛、乳牛及び肉豚農家は経営の危機にあるが支援策を講じる考えはないか。

市長 国の助成制度には価格保証制度があるが、一律同額補填であることから、更なる品質向上を図る必要がある。畜産振興大会的なものを開催し、消費拡大対策なども含め関係機関と連携し指導強化を図る。



品質を確認する生産者

る午前10時と午後3時の時報を復活できないか。

市長 放送内容については、なるべく端的に放送するように心がけている。内容が分かりづらいとは、放送する発声音のことか、また内容のことはわからないが、音声については、ゆっくりはきはきと放送するよう心がけている。時報は旧町により異なっていたが必要であれば地域ごとには可能である。

その他の質問

指定管理者制度

算 編成方針の公開は

予 市長／24年度予算から
ホームページに掲載



蔵元 慎一 議員

については、先進自治体の調査などを行い、今後

検討していきたいと考えている。

その他の質問
・ 公共施設の使用料金



蔵元 南九州市総合計画の中に「協働と自立による住民主役の個性的なまちづくり」とある。全国には、市のホームページに予算編成方針を掲載し住民の協働参画の機会を提供している自治体もあるが、市長の見解を問う。
市長 これまでホームページなどへの掲載はしていなかったが、インターネットで検索すると、全国ではかなりの自治体が公開している。平成24年度の予算編成方針から市のホームページに掲載し、広く周知したいと考えている。住民参画

再編・統合の後押しを

市長／自治会活性化市民検討会を設置する

自治会



森田 隆志 議員

森田 本市は、3地域合わせて271の自治会があり、中には少子高齢化により運営が機能しない自治会がある。
集落の活力が低下し、維持存続が困難になれば防災や防犯活動など、自治会運営に支障をきたす。



自治会総出の除雪作業

行政として、自治会の現状と課題など問題の提起をし、再編・統合に向けた取り組みを自治会とともに推し進める考えはないか。
市長 市内においては、少子高齢化などにより、運営が困難な自治会が見られ、統合などを含め自治会のあり方や将来を見据えた対策が必要と考えらる。
23年度に自治会活性化市民検討会を設置し、市民とともに検討していきたい。
進める上では嘱託員会などで広く話を進め、公民館施設、活動費、人件費の問題など真剣に取り組んで支援していきたい。
その他の質問
・ 携帯型無線非常通報器の整備

ヤスデ

現況と今後の対策は

市長／薬剤については一部負担を検討



加治佐民生 議員

加治佐 市内各地でまん延し住民に不快感を与えているヤンバルトサカヤスデの現況と今後の対策を問う。

市長 ヤスデは、年々その生息範囲を拡げており、10月には川辺地域においても成体[※]が確認され、住宅にも侵入してい

る状況である。

住民の情報や職員などの調査で確認した生息範囲は、11月1日現在市内全域で5491ヘクタールと推定されている。

このような状況の中、説明会などを開催し、発生地域からの土壌や草木の移動などの禁止、草刈などの環境整備をお願いしているが、生息範囲の抑制は厳しい状況である。

今後の対応は、薬剤の

適量散布を促すために無償で配布していた薬剤を来年度から一部個人負担を検討している。

加治佐 負担はどれぐらいと考えているか。

市民生活課長 他市町の状況から3割負担を検討している。

※成体
生物で生殖が可能ほどに成熟したもの。

その他の質問

・有害鳥獣被害対策の強化



現在配布されている薬剤



竹迫 毅 議員

竹迫 合併協議で「職員の給与は、職員の処遇及び給与の適正化の観点から調整し、統一を図る。なお、現職員については、現給を保障し、合併後新市の給与制度と整合性を図るよう調整する」となっているが、どのように調整したか。

市長 旧町格差があったことから統一的昇給モデルを作成し、高い職員は据え置き、低い職員は上限を設けて調整し、終了している。

ヤスデ返し補助制度の創設は

市長／財源的観点から難しい

竹迫 ヤスデ返しの補助制度創設の考えはないか。

市長 公共性や平等性、財源的な観点から難しい。

職員給与

合併に伴う調整は

市長／調整作業は終了している



住宅に侵入したヤスデ

い。

竹迫 市が積極的にヤスデの習性や薬剤の散布などについて説明会を実施してはどうか。

市長 自治会から要請があれば実施したい。

竹迫 校区公民館などを使用するには、まずヤス

デの掃除をしなければならないのが現状だ。今後給食センターや公共の施設には、ヤスデ返しの設置をすべきと思うがどうか。

市長 危機意識が足りなかった。今後考えていきたい。

い。

グラウンドゴルフの 施設整備を

市長／需要などを調査し検討
したい



田畑浩一郎 議員

田畑 駐車場を利用しグラウンドゴルフを行っているが、市民が十分楽しめ、また、大規模な大会を開催できる施設を整備する考えはないか。

市長 相当の敷地面積が必要となることや、施設整備には多額の費用を要することから、財政状況などに照らし、今のところ考えていない。

ただし、多くの芝広場があることから、グラウンドゴルフ大会などニースポーツの需要などを調査したうえで検討したい。

農作業時に利用できるトイレ設置を

市長／課題解決を模索し検討したい

田畑 本市は、食料供給基地として位置付けているが、農家の方々からトイレや休憩施設がなく不



グラウンドゴルフに利用されている駐車場

便との声を聞く。市民が安心して働けるよう市道や農道などに隣接したトイレや休憩のできる公園を整備する考えはないか。

市長 農作業を十分できるようにするためには、トイレや休憩所は必要であると考えます。

施設の設定にあたっては、日常の管理体制や用地の確保が可能かなどの課題解決を模索しながら検討したい。

請願・陳情について

請願・陳情は、市民の皆様の意見や要望を行政に反映させるための制度で誰でも議会に提出することができます。

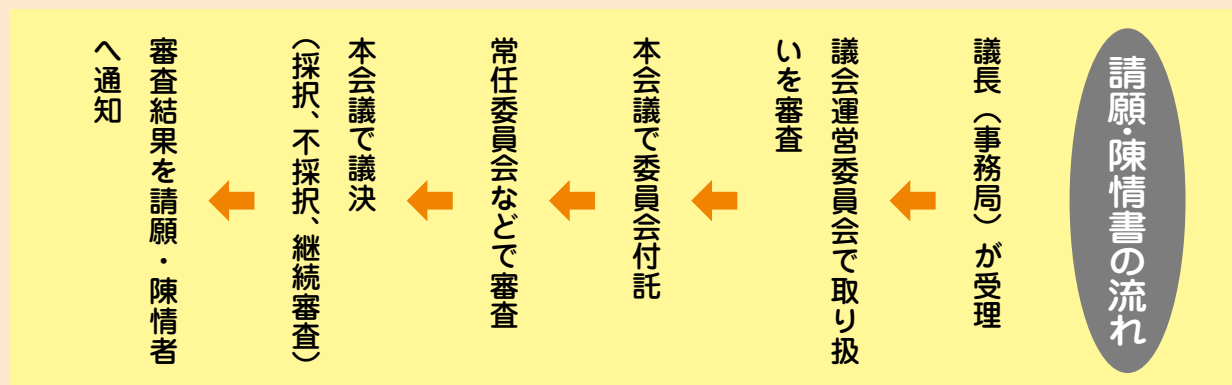
請願・陳情の提出方法

請願・陳情の件名、趣旨、提出年月日、提出者の住所・氏名（法人等団体の場合は、その名称・代表者氏名）を記載し捺印の上、議長宛に提出してください。

請願の場合は、その趣旨に賛成する市議会議員の紹介が必要となりますので、紹介議員の署名又は捺印が必要です。

なお、議会運営委員会2日前（土・日曜日は除く）に受理されたものは、その定例会で審査し、それ以降に受理したものは、次回以降の定例会で審査することになります。

詳しいことは、議会事務局（83-2511）までお問い合わせください。



言 提 せ 活

常任委員会が所管する事務について、議会閉会中に調査を行いました。
今回は、指定管理の現状と課題、地区公民館の組織と運営状況、林業資源の現況と今後の活用について調査し、当局に提言をしました。

民間能力を活用し 経費削減を

総務常任委員会

委員会は、指定管理の現状と課題について、日置市と薩摩川内市で調査を行いました。

日置市は、募集要項及び仕様書に地元雇用の確保に配慮することをうたうとともに、地元雇用の創出・推進が図られているかが選定基準の審査項目になっており、現在、地元採用者が8割以上となっている。

制度導入による財政的効果は、直営時と比較し、平成19年度から21年度までが各年度約2500万円となっている。

薩摩川内市は、指定管理対象583施設のうち約68%の396施設が制度を導入している。修繕などで指定管理者

が負担する額は、委託料制の場合は年度協定書に修繕料の額を明記し、執行残は返納精算となっている。利用料金制の場合は、原則、1件10万円未満の修繕は指定管理者が負担している。

提 言

(1) 指定管理者制度導入による各施設の経費削減額を毎年度試算し、検証していくこと。

(2) 修繕など指定管理者が負担する基準額は、営利施設については、30万円未満とすることを

検討すること。

(3) 今後の方向性が決定されていない施設もあるが、整理すべき課題を精査し指定管理者制度を導入できるものは早急に対処していくこと。

(4) 地元の団体などで管理運営できる施設は、経済性と地域振興を考慮したうえで、地元団体に限定した公募を検討すること。また、可能な限り選定基準に地元雇用の確保を設定すること。



指定管理者制度が導入されている知覧テニスの森公園で練習する子どもたち

地域住民の声を反映させた 公民館活動を

文教厚生常任委員会

委員会は、地区公民館の組織と運営状況について調査しました。

本市には条例で制定された地区（校区）公民館が、顕娃地域に6、知覧地域に7、川辺地域に7の計20カ所設置されている。

地域社会における公民館の役割としては、地域

における学習支援と地域づくりの支援が主なものである。

本市地区（校区）公民館の組織体制や管理運営体制及び地域活動については、大きな差異があり十分に機能が発揮されない所も見られる。

公の施設管理に対する国の法改正を機に知覧地



学童保育に取り組む田代校区公民館

域校区公民館に指定管理者制度を導入しているが、地域の独自性、自主性を尊重し、市全体として管理体制の統一を図るため平成23年4月からは市直営方式で管理運営する予定である。

公民館長が兼務している

各種委員などは、会議や行事への出席が多く公民館長後継者選出に苦慮しているため、行政として何らかの対応を検討すべきである。

― 提 言 ―

(1) 多種・多様化する地域住民のニーズに対応するため、一層の組織体制の強化を図ること。

(2) 地区（校区）公民館の果たすべき活動や業務内容について明確にすること。

(3) 行政効果や利便性のみを求めることなく、地域住民の声を十分反映させること。

(4) 行政施設などの一極集中による地域衰退を危惧する声もあるが、公民館活動の充実が地域住民に与える安心感や行政に対する信頼を培うことに大きな意味をもつことから、市が全面的なバックアップを行うこと。

林業従事者の所得向上を

産業建設常任委員会



南薩木材加工センターを視察する委員

委員会は、林業資源の現況と今後の活用について調査しました。

本市の森林面積は、21

年4月1日現在1万79

97ヘクタールで、総面

積の約50%を占めてお

り、そのうちスギ・ヒノ

キは1万1553ヘク

タールで戦後植栽され

たものが約58%を占め、伐

採時期を迎えている。

特有林産物は、シキミの植栽が増加しており、

南薩木材加工センターは、平成6年4月より操業を開始し、前年度の原木消費量は1万3677立方メートルで、製品販売のほか畜産農家へのお

がくず販売が主である。本年度、施設増設を計画しており、製材施設や作業用建物など補助事業で総事業費約9億円をかけ整備することとなっている。

― 提 言 ―

(1) 市有林は伐採時期を迎えたら全て伐採するのではなく、必要に応じ貴重な森林として残すこと。

(2) 特有林産物の供給及び販売は、情報提供などを随時実施し、事業促進を図ること。

(3) 木材需要に対応した供給体制を構築するため、森林所有者、市、森林組合及び南薩木材加工センターが一体となり森林の整備管理を行い、林業従事者の所得向上が図られるよう推進すること。

知覧町 西元

西垂水健司

これからも前向きに住みよい町へ

年末年始の大変忙しい時に、広報委員の方から頼み込まれて、私のよう

なものが書くことになり、断れなかったことを反省しながら前の方々の原稿を用意してもらい、市民の方々の声はみんな一緒なんだなあとつくづく思いました。

私たちの集落は県道知覧枕崎線沿いにあり比較的交通量の多い所ですが、中学生が自転車で通学する道路なのに歩道がなく、20年ぐらい前から集落を通して、町政懇談会や県議、町議の方々にもお願いしていました。が、なかなか要望することが通らなくて、おかしいと常々思っていました。そんな中、昨年の6月ごろに、側溝に落ちた中学生の親の方が合庁へ

問い合わせしてみたところ、歩道設置のお願いなどを認識しておらず、大変残念に思ったということ聞き、憤りを超えた怒りに近いものを感じました。

子どもたちは、白線と側溝の間が10センチ程の所なども通らなくてはならないような現状をどうして県道の補修工事などを行った県の担当者が認識していなかったのか、おかしい話だと思えます。これからは、何に対しても関係する方々が、自分のことのように思っ



顓娃町 郡

永山真知子
未来がどうあるべきかを考えて

南九州市の顓娃町に移り住み早5年が過ぎました。こちらに来てから農家の若い後継者が多いことや、市民の方々が集落の方々のまとまりの強さに驚きました。とても素晴らしいことではありますが、そのまとまり、団結力の強さゆえに、市外から移り住む人たちが輪の中に入っていけない状態をよく見かけると同時に、私自身も感じています。後継者の多い市だからこそ、移り住む人たちにやさしい受け入れ体制やサポートの強化をしてほしいです。住む家



かながなく、住宅の整備も大事であると思えます。また、農業の振興を行っていくことも必要ではないでしょうか。本市の代表的なものや、農産物のブランド化をしていく努力が必要であると思えます。そうすることで、南九州市が活気づけば、市外・県外へのピーアールにもつながって行くのではないのでしょうか。

将来子どもたちが、本市に生まれ育って良かったと思える市であるためにも、未来を考えたまちづくりを期待します。

請願・陳情の提出締切

2月9日まで
議会事務局へ

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**2月22日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

編集後記

時が経つのは早いもので、合併して3年が過ぎ、市議会だよりも第13号となりました。

合併前の人口は4万2092人で、昨年末の人口4万112人となり、1980人の減少となっています。

人口減少と少子高齢化に、どのように取り組むのか、本市の大きな課題であると考えます。

3月の九州新幹線全線開業を機に、訪れたいまち・住みたいまちとしてさらに本市の魅力を全国に発信し、人口の増加につなげていきたいものです。

(加治佐)

▼広報編集委員会

委員長 峯苦 勝範
副委員長 山下つきみ
委員 満留 秀昭
大藪 秀己
加治佐民生
菊永 忠行